

平成24年度 函館市病院事業の経営実績

平成25年6月
函館市病院局

目 次

I. 平成24年度の経営状況

24年度当初に掲げた各目標値に対する実績を記載しています。

1 患者数等	1 ページ
2 収支状況	2～5 ページ
3 主な経営指標	6～7 ページ

II. 改革プランに基づく取組状況

24年度における収入確保, 経費削減の主な取り組み実績を記載しています。

1 収入増加・確保対策	8～11 ページ
2 経費削減・抑制対策	12 ページ

III. 改革プラン収支計画との比較

改革プラン収支計画と実績の比較を記載しています。

1 収支計画と実績の比較	13 ページ
--------------------	--------

I. 平成24年度の経営状況

1 患者数等

① 函館病院

入院患者数は、一般で1日平均480人の予算目標に対し10.5人下回り469.5人、新規入院患者数は、23年度の11,105人に対して43人増加し11,148人、年間平均在院日数は、23年度と同数の14.4日となっています。

また、精神は66.5人の予算目標に対し9.3人下回り57.2人となっています。

外来患者数は、一般で1日平均1,050人の予算目標に対し62.8人上回り1,112.8人、精神は87人の予算目標に対し3.2人上回り90.2人となっています。

病床利用率は、一般で23年度の73.9%に対し0.2%上回り74.1%、そのうち結核、感染症、休床を除く利用率については87.1%となっています。

また精神は、23年度の64.0%に対し6.8%下回り57.2%、そのうち休床を除く利用率については63.5%となっています。

区分	H24予算目標A	H24実績B	差引B-A
入院患者数(一般)	480.0 人/日	469.5 人/日	△ 10.5 人/日
新規入院患者数	(H23実績 11,105人)	11,148 人	43 人
年間平均在院日数	(H23実績 14.4日)	14.4 日	0.0 日
入院患者数(精神)	66.5 人/日	57.2 人/日	△ 9.3 人/日
外来患者数(一般)	1,050.0 人/日	1,112.8 人/日	62.8 人/日
〃 (精神)	87.0 人/日	90.2 人/日	3.2 人/日
病床利用率(一般634床)	(H23実績 73.9%)	74.1 %	0.2 %
〃 (結核、感染症、休床除く)	(H23実績 86.2%)	87.1 %	0.9 %
病床利用率(精神100床)	(H23実績 64.0%)	57.2 %	△ 6.8 %
〃 (休床除く)	(H23実績 64.0%)	63.5 %	△ 0.5 %

※函館病院病床数 [一般634床(一般病床598, 結核病床30, 感染病床6), 精神100床]
休床 H23一般47床 H24一般62床(H23.9~), H24精神30床(H24.12~)

② 恵山病院

入院患者数は、1日平均57人の予算目標に対し3.8人下回り53.2人となっています。

外来患者数は、1日平均78.8人の予算目標に対し5.7人下回り73.1人となっています。

病床利用率は、23年度の87.3%に対し1.3%上回り88.6%となっています。

区分	H24予算目標A	H24実績B	差引B-A
入院患者数	57.0 人/日	53.2 人/日	△ 3.8 人/日
外来患者数	78.8 人/日	73.1 人/日	△ 5.7 人/日
病床利用率	(H23実績 87.3%)	88.6 %	1.3 %

※恵山病院病床数 [療養60床]

③ 南茅部病院

入院患者数は、1日平均32人(一般)の予算目標に対し4.7人上回り36.7人(一般+療養)となっています。

外来患者数は、1日平均115.5人の予算目標に対し10.8人下回り104.7人となっています。

病床利用率は、23年度の52%に対し10.3%上回り62.3%となっています。

区分	H24予算目標A	H24実績B	差引B-A
入院患者数(一般)	32.0 人/日	27.2 人/日	△ 4.8 人/日
〃 (療養)	— 人/日	9.5 人/日	9.5 人/日
外来患者数	115.5 人/日	104.7 人/日	△ 10.8 人/日
病床利用率	(H23実績 52.0%)	62.3 %	10.3 %

※南茅部病院病床数 [一般37床, 療養22床]

2 収支状況

① 函館病院

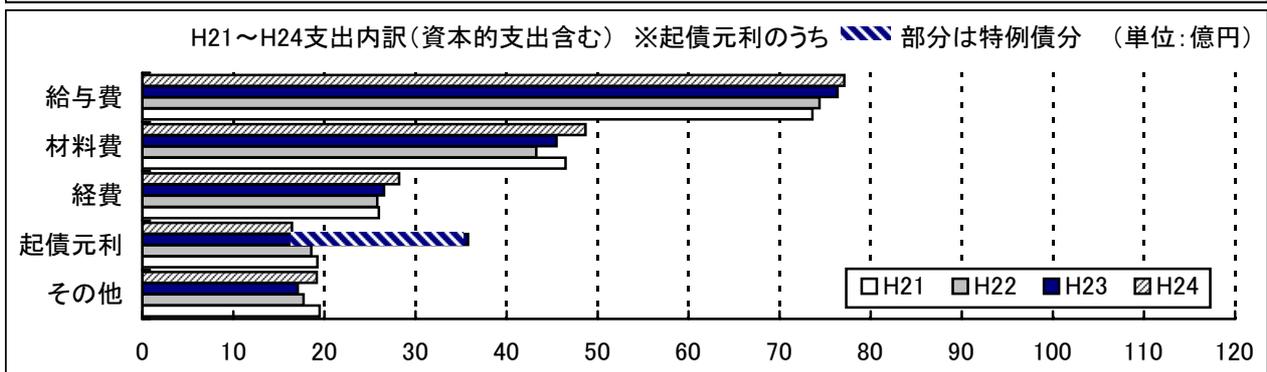
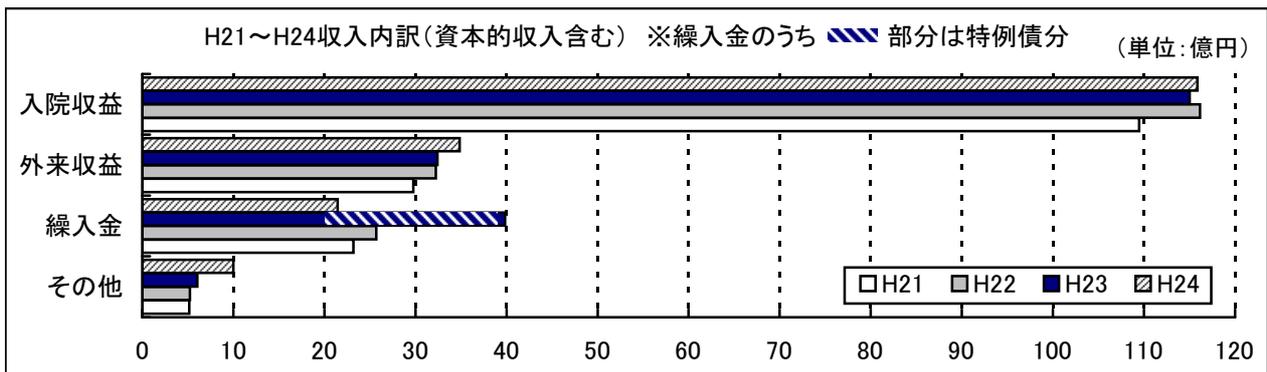
平成24年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が4億8,786万8千円の黒字となり、対前年比では8,918万8千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては1億3,786万8千円のプラスとなっています。
 なお、H24決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています

(単位:千円)

科目			H23実績A	H24決算見込B	差引B-A	H24当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	11,502,569	11,587,324	84,755	11,842,054	△ 254,730
		外来収益	3,240,221	3,483,936	243,715	3,198,831	285,105
		その他	202,887	221,601	18,714	221,870	△ 269
	医業外・学院収益		1,703,866	1,768,361	64,495	1,759,125	9,236
	特別利益		1,813,925	29	△ 1,813,896	2	27
計			18,463,468	17,061,251	△ 1,402,217	17,021,882	39,369
費用	医業費用	給与費	7,634,417	7,709,136	74,719	7,962,143	△ 253,007
		材料費	4,550,321	4,868,446	318,125	4,666,445	202,001
		経費	2,653,995	2,820,836	166,841	2,804,946	15,890
		その他	1,341,293	1,197,915	△ 143,378	1,209,326	△ 11,411
	医業外・学院・予備費		680,360	632,796	△ 47,564	675,495	△ 42,699
特別損失		66,467	96,686	30,219	70,001	26,685	
計			16,926,853	17,325,815	398,962	17,388,356	△ 62,541
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 210,843	△ 167,907	42,936	△ 296,475	128,568
収益-費用			1,536,615	△ 264,564	△ 1,801,179	△ 366,474	101,910
資本的収入			866,970	1,154,394	287,424	1,093,411	60,983
資本的支出			3,195,820	1,632,647	△ 1,563,173	1,580,153	52,494
資本的収支差引			△ 2,328,850	△ 478,253	1,850,597	△ 486,742	8,489
損益勘定留保資金			1,369,291	1,230,685	△ 138,606	1,203,216	27,469
当年度財源過不足額			577,056	487,868	△ 89,188	350,000	137,868
一般会計繰入金			3,982,973	2,144,402	△ 1,838,571		

※ H23特別利益には公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(1,813,800千円)を含む。

※ H23資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(1,813,800千円)を含む。



② 恵山病院

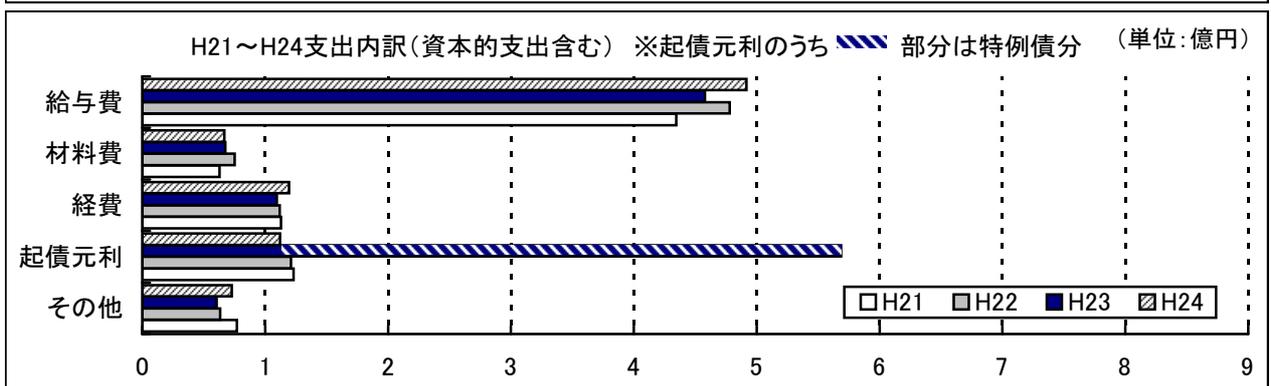
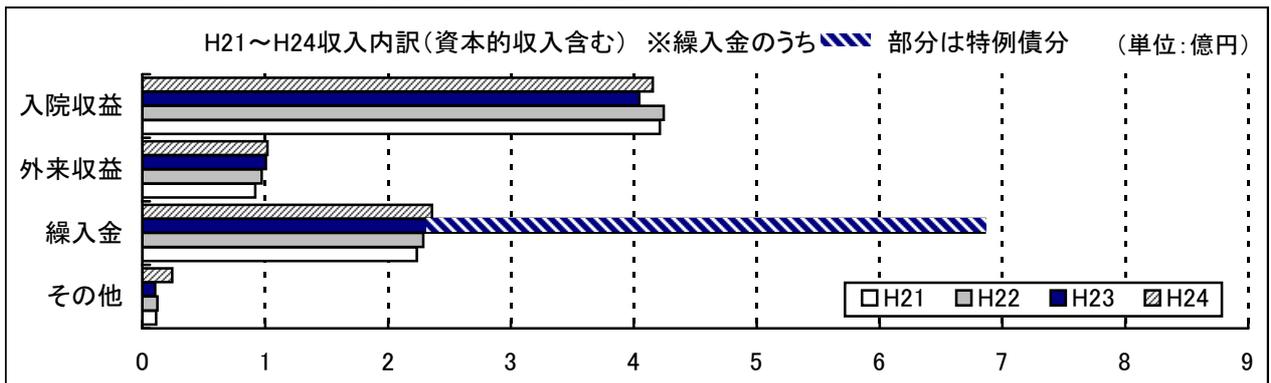
平成24年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が2,839万9千円の赤字となり、対前年比では2,408万2千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては416万7千円のプラスとなっています。
 なお、H24決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています。

(単位:千円)

科目			H23実績A	H24決算見込B	差引B-A	H24当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	404,395	415,341	10,946	439,087	△ 23,746
		外来収益	100,565	101,817	1,252	102,276	△ 459
		その他	9,784	9,949	165	9,316	633
	医業外収益		164,351	165,324	973	164,517	807
	特別利益		448,600	0	△ 448,600	0	0
	計		1,127,695	692,431	△ 435,264	715,196	△ 22,765
費用	医業費用	給与費	457,827	491,576	33,749	499,881	△ 8,305
		材料費	67,522	66,707	△ 815	70,214	△ 3,507
		経費	109,448	119,318	9,870	132,410	△ 13,092
		その他	56,285	54,346	△ 1,939	55,917	△ 1,571
	医業外費用		17,275	11,772	△ 5,503	13,254	△ 1,482
	特別損失		45	1,410	1,365	1,000	410
計		708,402	745,129	36,727	772,676	△ 27,547	
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 29,262	△ 51,288	△ 22,026	△ 56,480	5,192
収益-費用			419,293	△ 52,698	△ 471,991	△ 57,480	4,782
資本的収入			73,323	84,773	11,450	87,174	△ 2,401
資本的支出			555,689	117,401	△ 438,288	119,720	△ 2,319
資本的収支差引			△ 482,366	△ 32,628	449,738	△ 32,546	△ 82
損益勘定留保資金			58,756	56,927	△ 1,829	57,460	△ 533
当年度財源過不足額			△ 4,317	△ 28,399	△ 24,082	△ 32,566	4,167
一般会計繰入金			685,495	235,776	△ 449,719		

※H23特別利益は、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(448,600千円)。

※H23資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(448,600千円)を含む。



③ 南茅部病院

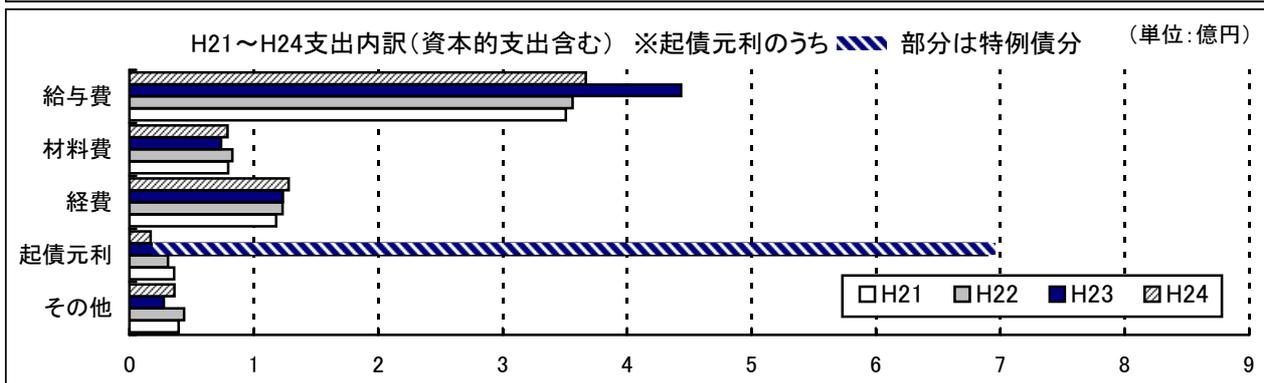
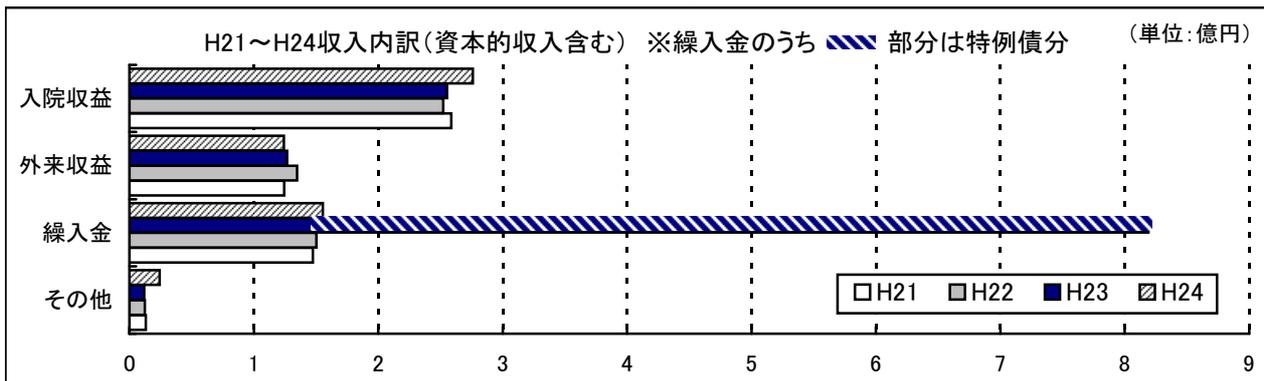
平成24年度の実績(決算見込)は、当年度財源過不足額が2,620万4千円の赤字となり、対前年比では9,366万5千円のプラスとなっています。当初予算に対しては1,623万円のプラスとなっています。
 なお、H24決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています。

(単位:千円)

科目			H23実績A	H24決算見込B	差引B-A	H24当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	255,396	275,925	20,529	272,990	2,935
		外来収益	126,882	124,125	△ 2,757	125,700	△ 1,575
		その他	10,031	9,043	△ 988	10,699	△ 1,656
	医業外収益		147,955	149,082	1,127	148,783	299
	特別利益		663,700	22	△ 663,678	0	22
	計		1,203,964	558,197	△ 645,767	558,172	25
費用	医業費用	給与費	443,292	366,856	△ 76,436	377,278	△ 10,422
		材料費	73,664	78,852	5,188	78,858	△ 6
		経費	123,298	128,079	4,781	129,865	△ 1,786
		その他	25,933	22,924	△ 3,009	24,259	△ 1,335
	医業外費用		12,472	5,210	△ 7,262	6,709	△ 1,499
	特別損失		295	597	302	1,000	△ 403
計		678,954	602,518	△ 76,436	617,969	△ 15,451	
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 138,395	△ 43,746	94,649	△ 58,797	15,051
収益-費用			525,010	△ 44,321	△ 569,331	△ 59,797	15,476
資本的収入			9,306	21,576	12,270	22,076	△ 500
資本的支出			678,384	24,607	△ 653,777	26,707	△ 2,100
資本的収支差引			△ 669,078	△ 3,031	666,047	△ 4,631	1,600
損益勘定留保資金			24,199	21,148	△ 3,051	21,994	△ 846
当年度財源過不足額			△ 119,869	△ 26,204	93,665	△ 42,434	16,230
一般会計繰入金			819,018	155,359	△ 663,659		

※H23特別利益は、公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(663,700千円)。

※H23資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(663,700千円)を含む。



④ 3病院合計

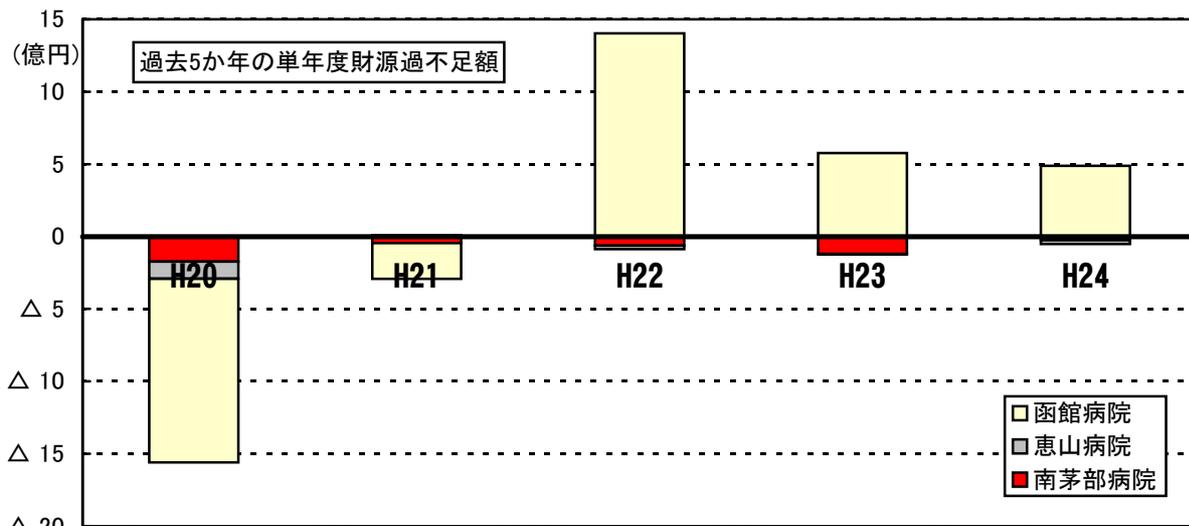
3病院を合計した病院事業全体では、24年度、当年度財源過不足額が4億3,326万5千円の黒字となり、対前年比では1,960万5千円のマイナスとなっています。当初予算に対しては1億5,826万5千円のプラスとなっています。なお、H24決算見込の収入および支出の内訳は以下のとおりとなっています。また、参考として、過去5か年の単年度財源過不足額の推移を記載しています。

(単位:千円)

科目			H23実績A	H24決算見込B	差引B-A	H24当初予算C	差引B-C
収益	医業収益	入院収益	12,162,360	12,278,590	116,230	12,554,131	△ 275,541
		外来収益	3,467,668	3,709,878	242,210	3,426,807	283,071
		その他	222,702	240,593	17,891	241,885	△ 1,292
	医業外・学院収益		2,016,172	2,082,767	66,595	2,072,425	10,342
	特別利益		2,926,225	51	△ 2,926,174	2	49
計			20,795,127	18,311,879	△ 2,483,248	18,295,250	16,629
費用	医業費用	給与費	8,535,536	8,567,568	32,032	8,839,302	△ 271,734
		材料費	4,691,507	5,014,005	322,498	4,815,517	198,488
		経費	2,886,741	3,068,233	181,492	3,067,221	1,012
		その他	1,423,511	1,275,185	△ 148,326	1,289,502	△ 14,317
	医業外・学院・予備費		710,107	649,778	△ 60,329	695,458	△ 45,680
特別損失		66,807	98,693	31,886	72,001	26,692	
計			18,314,209	18,673,462	359,253	18,779,001	△ 105,539
収益-費用(特別利益・損失を除く)			△ 378,500	△ 262,941	115,559	△ 411,752	148,811
収益-費用			2,480,918	△ 361,583	△ 2,842,501	△ 483,751	122,168
資本的収入			949,599	1,260,743	311,144	1,202,661	58,082
資本的支出			4,429,893	1,774,655	△ 2,655,238	1,726,580	48,075
資本的収支差引			△ 3,480,294	△ 513,912	2,966,382	△ 523,919	10,007
損益勘定留保資金			1,452,246	1,308,760	△ 143,486	1,282,670	26,090
当年度財源過不足額			452,870	433,265	△ 19,605	275,000	158,265
一般会計繰入金			5,487,486	2,535,537	△ 2,951,949		

※H23特別利益には公立病院特例債繰上償還に係る一般会計繰入金(2,926,100千円)を含む。

※H23資本的支出には公立病院特例債の繰上償還(2,926,100千円)を含む。



(単位:千円)

区分	H20	H21	H22	H23	H24
函館病院	△ 1,269,654	△ 249,922	1,403,665	577,056	487,868
恵山病院	△ 118,933	11,164	△ 26,325	△ 4,317	△ 28,399
南茅部病院	△ 173,193	△ 44,799	△ 63,456	△ 119,869	△ 26,204
3病院合計	△ 1,561,780	△ 283,557	1,313,884	452,870	433,265

3 主な経営指標

① 函館病院

【改革プランに掲げた目標とH24実績】

- ① 経常収支比率: H27までに100%以上→H24実績99.0%
- ② 職員給与費対比率: H21以降50%以下→H24実績44.5%
- ③ 病床利用率(一般): H24以降85%以上→H24実績78.1%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率(一般)
H18	86.0	84.8	48.5	32.1	16.6	84.1
H19	86.4	84.9	51.9	31.0	15.4	81.5
H20	86.2	84.6	52.1	31.2	13.9	73.6
H21	93.9	91.8	46.9	30.7	13.7	78.3
H22	102.1	99.4	44.0	26.9	11.7	81.9
H23	98.7	96.0	45.6	28.5	12.2	78.2
H24	99.0	95.9	44.5	29.8	13.3	78.1

以下 平成22年度全国平均(500床以上の病院)

民間病院	104.4	104.7	46.3	27.0	16.7	—
公的病院(自治体以外)	104.7	105.1	46.8	29.8	19.2	—
公立病院(黒字)	104.0	97.0	48.4	25.6	12.8	84.5
公立病院(上位1/2)	104.2	98.3	47.8	26.3	13.2	85.1
公立病院(全体)	102.7	96.3	49.0	25.8	12.7	84.3

※ 各指標の算式(消費税抜き)

1. 経常収支比率

$$\text{経常収益(医業収益+医業外収益)} \div \text{経常費用(医業費用+医業外費用)} \times 100$$

2. 医業収支比率

$$\text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$$

3. 職員給与費対医業収益比率

$$\text{職員給与費} \div \text{医業収益} \times 100$$

4. 材料費対医業収益比率

$$\text{材料費} \div \text{医業収益} \times 100$$

5. 薬品費対医業収益比率

$$\text{薬品費} \div \text{医業収益} \times 100$$

② 恵山病院

【改革プランに掲げた目標とH24実績】

- ① 経常収支比率: H23までに100%以上→H24実績93.1%
- ② 職員給与費比率: H23以降80%以下→H24実績78.7%
- ③ 病床利用率: H21以降95%以上→H24実績88.6%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H18	66.8	56.8	102.3	14.5	9.6	84.0
H19	70.0	59.6	93.6	13.8	7.6	85.3
H20	76.0	65.8	89.9	12.1	5.9	90.4
H21	96.1	80.2	72.3	11.1	5.1	96.1
H22	92.9	77.0	76.8	13.0	6.2	89.4
H23	95.9	77.9	75.2	12.1	5.4	87.3
H24	93.1	75.3	78.7	11.7	5.9	88.6

③ 南茅部病院

【改革プランに掲げた目標とH24実績】

- ① 経常収支比率: H21までに100%以上→H24実績92.7%
- ② 職員給与費比率: H21以降80%以下→H24実績67.7%
- ③ 病床利用率: H21以降59%以上→H24実績62.3%

(単位: %)

区分	経常収支比率	医業収支比率	職員給与費対医業収益比率	材料費対医業収益比率	うち薬品費対医業収益比率	病床利用率
H18	76.4	69.7	58.1	49.6	44.2	77.9
H19	72.3	64.4	68.5	49.0	43.5	68.2
H20	68.5	56.9	91.4	20.4	11.7	59.3
H21	88.3	71.2	70.1	18.5	11.4	62.4
H22	89.5	71.6	70.2	19.1	12.1	53.5
H23	79.6	62.2	92.1	17.2	10.4	52.0
H24	92.7	72.5	67.7	17.7	10.5	62.3

以下 平成22年度全国平均(50床以上100床未満の病院)

公立病院 (黒字)	103.2	88.2	58.8	20.5	14.1	72.2
公立病院 (上位1/2)	103.3	88.6	58.5	20.3	14.0	72.9
公立病院 (全体)	98.5	83.2	62.7	20.6	14.0	70.3

Ⅱ. 改革プランに基づく取組状況

1 収入増加・確保対策

① 函館病院医業収益

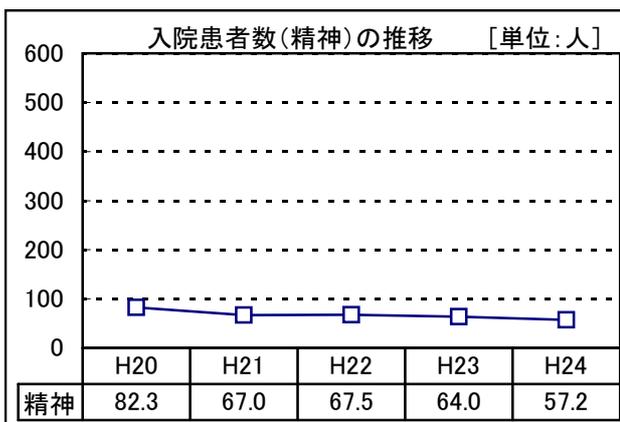
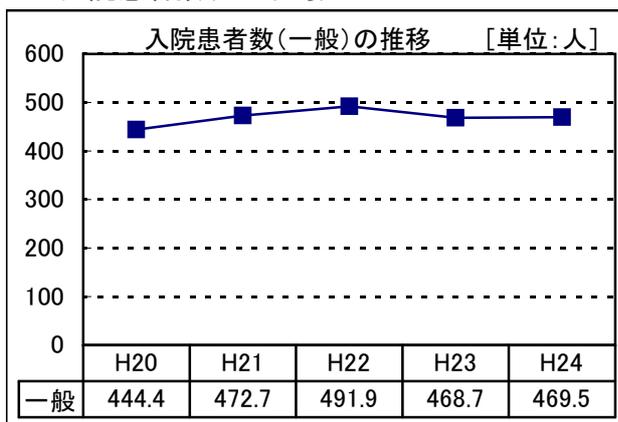
平成24年度の診療報酬改定に伴い、函館病院は大学病院本院に準じた診療密度と高度な医療機能をもつ病院として「DPC病院Ⅱ群」に分類・評価され、さらに7月には急性期看護補助体制加算25対1を、12月には病棟薬剤業務実施加算を取得しています。

24年度の1日平均入院患者数は、一般469.5人で23年度468.7人に対し0.8人の増、精神57.2人で23年度64人に対し6.8人の減となっています。

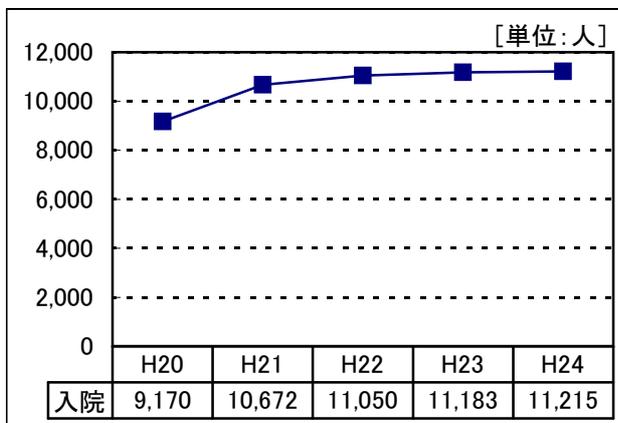
また、新規入院患者数は一般と精神を合わせて11,215人で23年度11,183人に対し32人の増、一般の年間平均在院日数は昨年度と同数の14.4日となっています。

24年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で65,743.9円で23年度64,964.5円に対し779.4円の増、精神は15,346.2円で23年度15,276.8円に対し69.4円の増となっています。

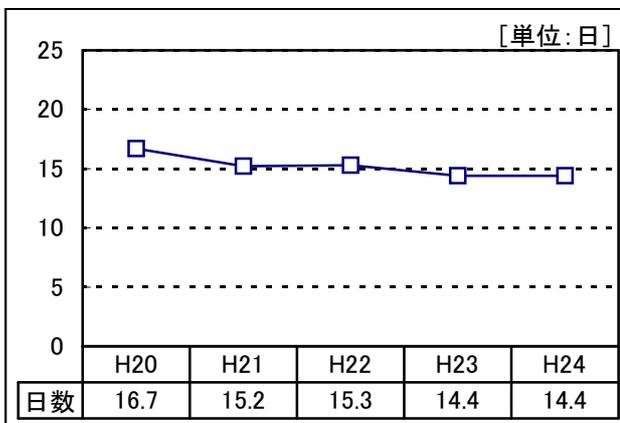
□ 入院患者数(1日平均)



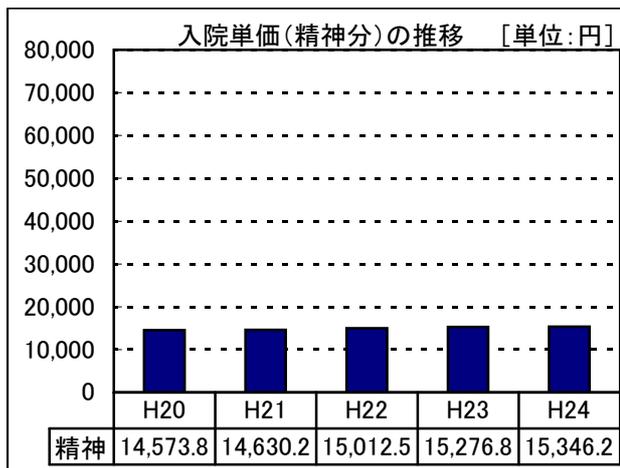
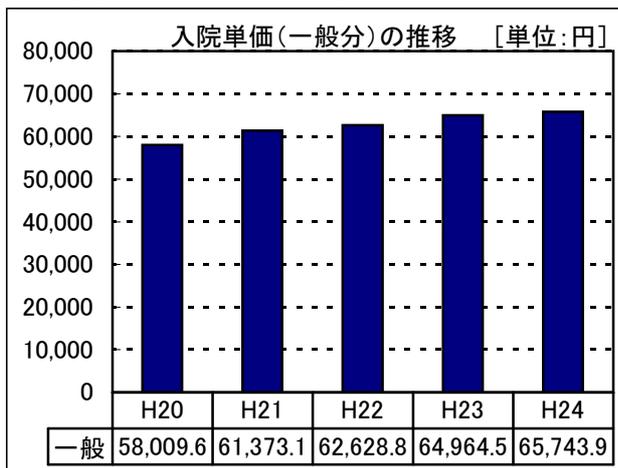
・ 新規入院患者数



・ 年間平均在院日数(一般)



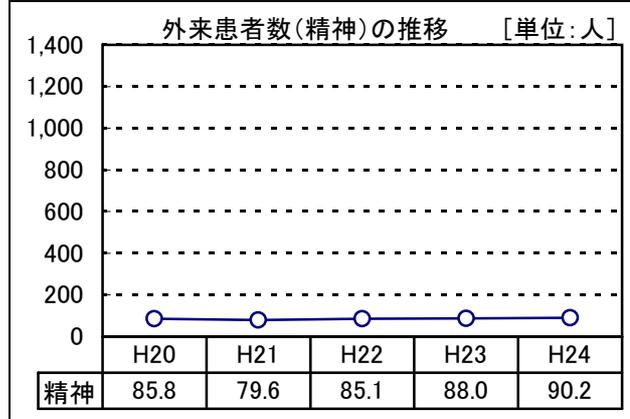
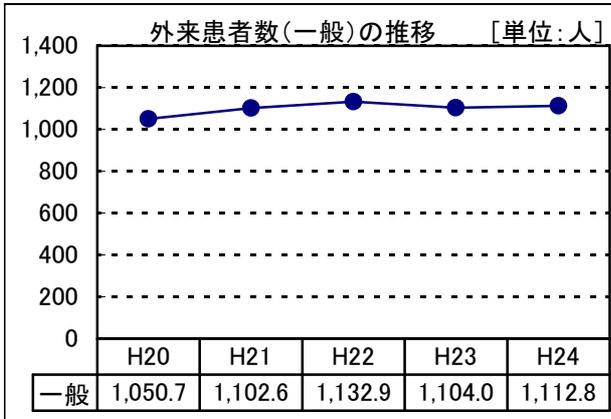
□ 患者1人あたり入院診療単価



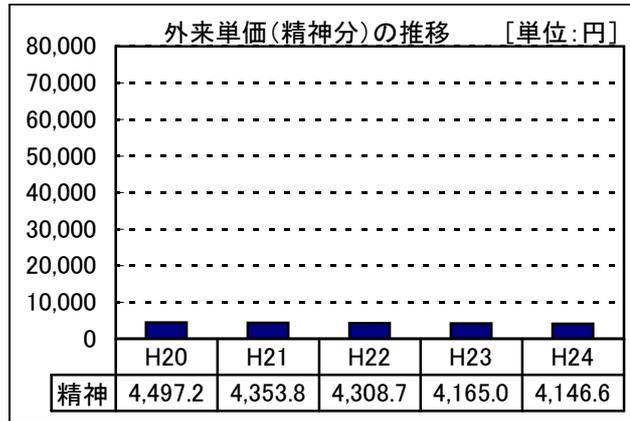
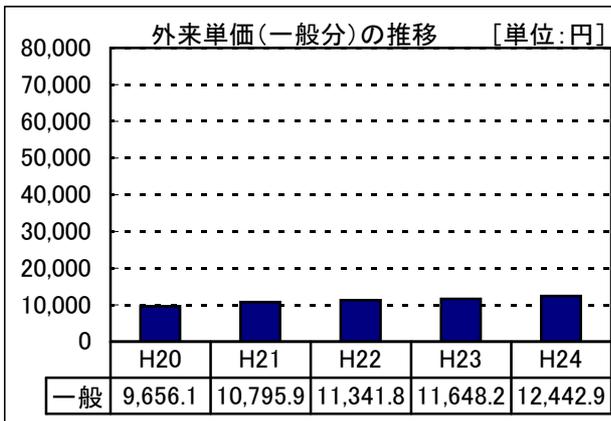
外来患者数は、1日平均、一般1,112.8人で23年度1,104人に対し8.8人の増、精神は90.2人で23年度88人に対し2.2人の増となっています。

外来患者1人あたり診療単価は、一般で12,442.9円で23年度11,648.2円に対し794.7円の増、精神は4,146.6円で23年度4,165円に対し18.4円の減となっています。

□ 外来患者数(1日平均)



□ 患者1人あたり外来診療単価



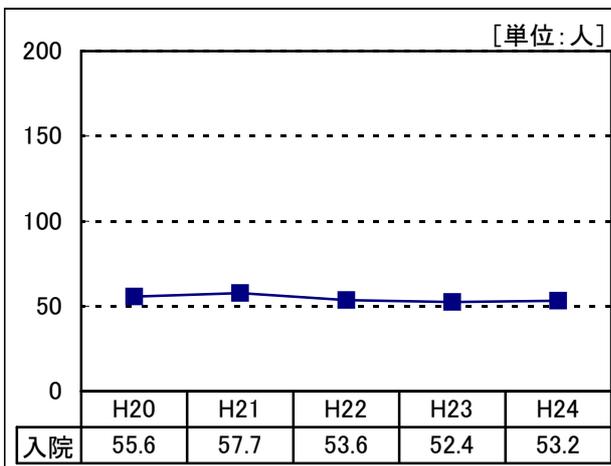
② 恵山病院医業収益

恵山病院では、これまでに引き続き透析患者の確保に努めています。

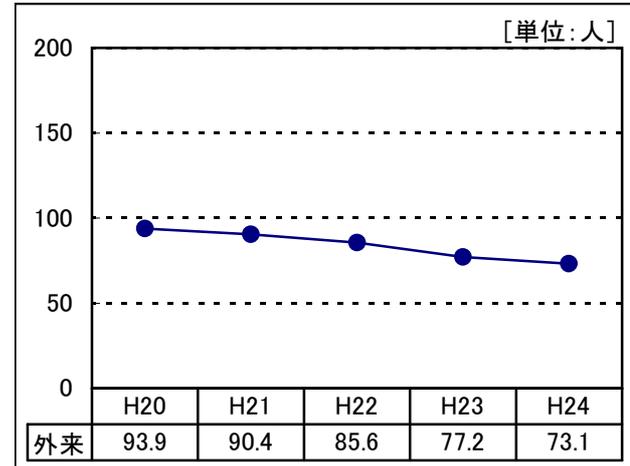
24年度の1日平均入院患者数は53.2人で23年度52.4人に対し0.8人の増、外来患者数は、1日平均73.1人で23年度77.2人に対し4.1人の減となっています。

24年度の入院患者1人あたり診療単価は、21,398.3円で23年度21,089.7円に対し308.6円の増、外来患者1人あたり診療単価は、5,708.8円で23年度5,336.7円に対し372.1円の増となっています。

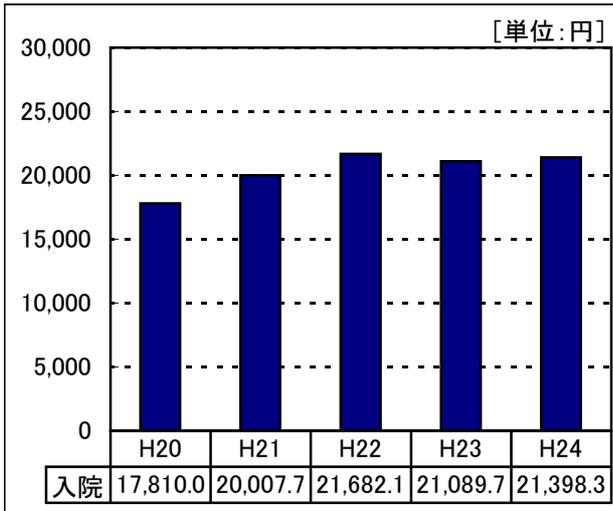
□ 入院患者数(1日平均)



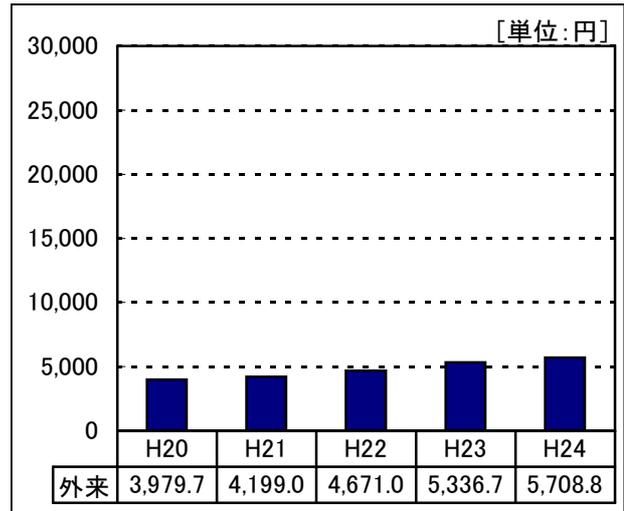
□ 外来患者数(1日平均)



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



③ 南茅部病院医業収益

平成24年度の診療報酬改定で、一般病棟における長期療養患者の評価が見直されたことにより、診療体制などを検討のうえ、10月から入院基本料10対1から13対1へ変更しています。

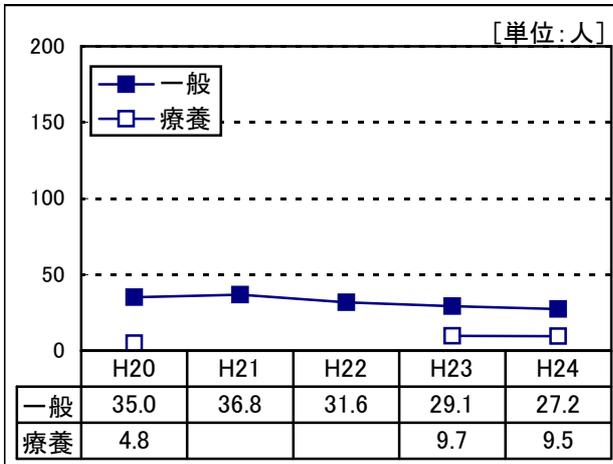
24年度の1日平均入院患者数は、一般27.2人で23年度29.1人に対し1.9人の減、療養9.5人で23年度9.7人に対し0.2人の減となっています。

また、外来患者数は1日平均104.7人で23年度113.5人に対し8.8人の減となっています。

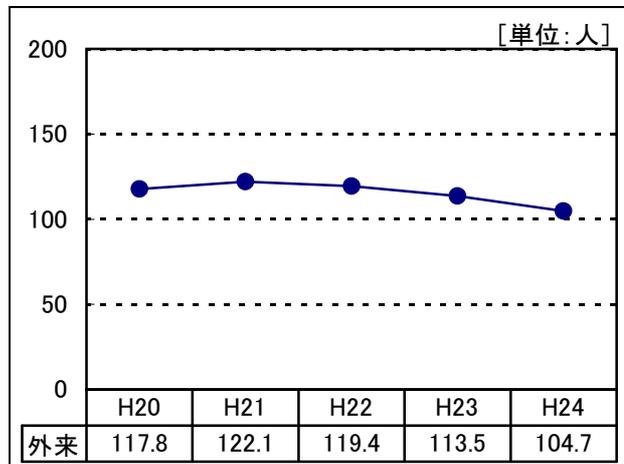
24年度の入院患者1人あたり診療単価は、一般で25,017.1円で23年度23,528.2円に対し1,488.9円の増、療養は7,855.3円で23年度8,323.6円に対し468.3円の減となっています。

また、外来患者1人当たり診療単価は、4,858.3円で23年度4,582.4円に対し275.9円の増となっています。

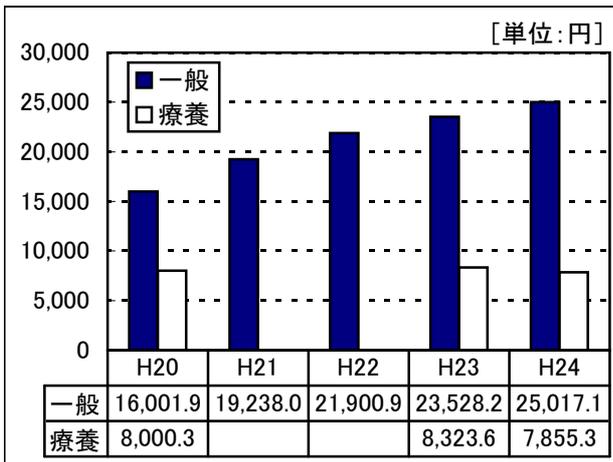
□ 入院患者数(1日平均)



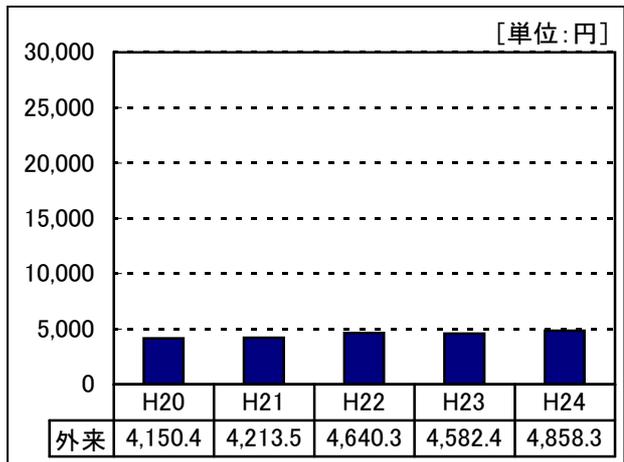
□ 外来患者数(1日平均)



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



④ 未収金の縮減

函館病院では、未収金対策として、特に新規滞納を発生させないための取り組みとして、19年度から入院時説明コーナーの開設や夜間救急の即日徴収、休日退院の事前精算等の実施、納付相談の強化などを行っており、20年度にはクレジットカード納付の導入、22年度にはコンビニ納付を導入しています。また、未納者に対しては、内容証明郵便の送付や支払督促申立てを行っており、24年度には債権差押命令の申立ても行いました。

函館病院の24年度の未収額は、277,852千円で23年度352,673千円に対し74,821千円の減となっています。なお回収不能な未収金59,986千円については不納欠損処分を行いました。

恵山病院の24年度の未収額は、2,114千円で23年度3,871千円に対し1,757千円の減となっています。なお回収不能な未収金1,410千円については不納欠損処分を行いました。

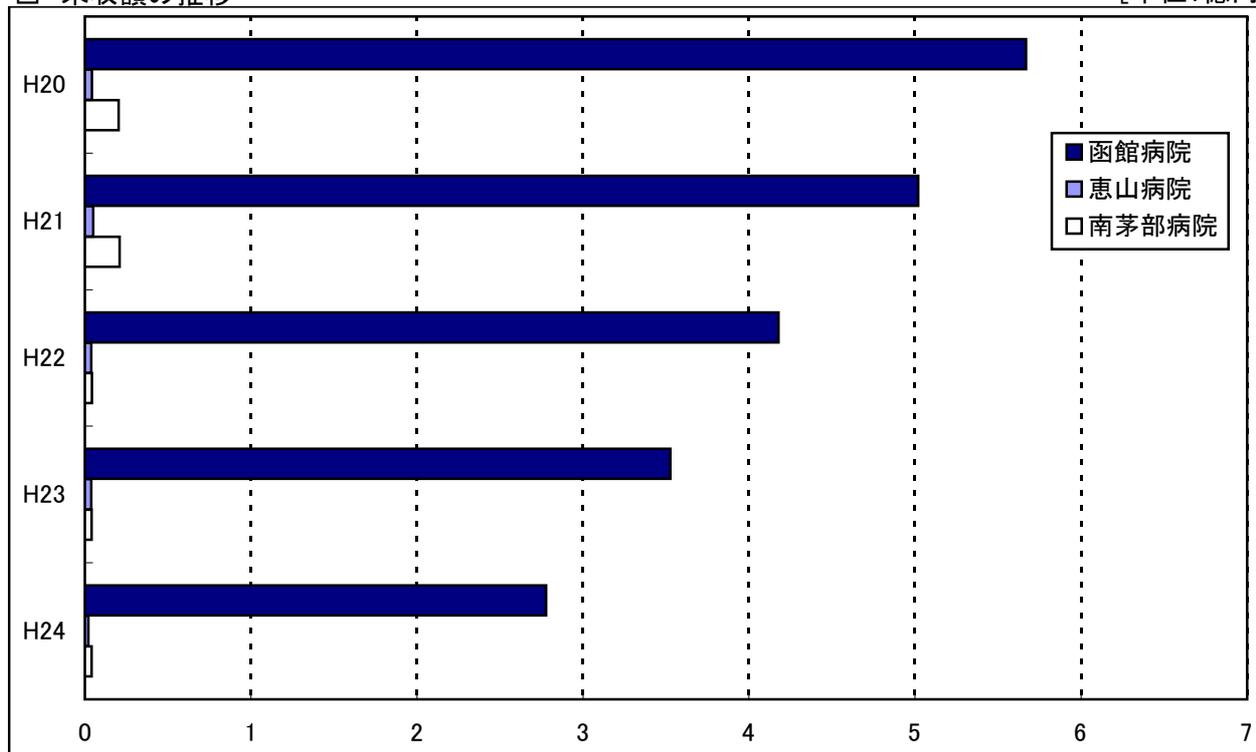
南茅部病院の24年度の未収額は、3,229千円で23年度4,027千円に対し798千円の減となっています。なお回収不能な未収金197千円については不納欠損処分を行いました。

[単位:千円]

区分	H20	H21	H22	H23	H24
函館病院	566,798	501,864	417,713	352,673	277,852
恵山病院	4,286	5,078	3,820	3,871	2,114
南茅部病院	20,334	20,847	4,252	4,027	3,229
3病院合計	591,418	527,789	425,785	360,571	283,195

□ 未収額の推移

[単位:億円]



2 経費削減・抑制対策

① 医業収益に対する材料費の割合

薬品につきましては、ジェネリック医薬品の積極採用に努めており、24年度は品目数ベースで55.4%、23年度の50.7%に対し4.7%上回っていますが、薬品費全体では、抗がん剤の使用量の増加などにより、対前年比327,150千円増の2,854,780千円となっています。診療材料は対前年度8,537千円減の1,872,274千円となっています。

なお、医業収益は入院・外来収益の合計で328,470千円の増となり、材料費が医業収益に占める割合は23年度に対して1.46%の増の31.36%となっています。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数 ÷ 使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数 × 100

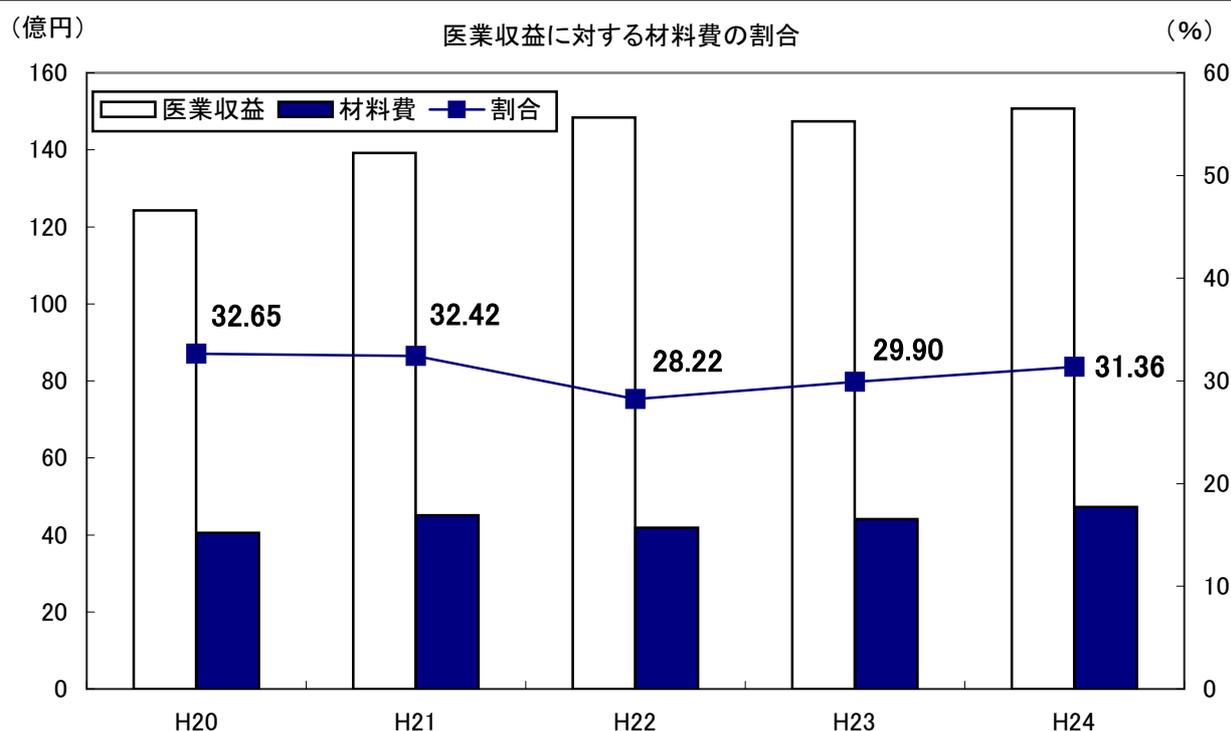
H23. 3月末現在
47.3%



H24. 3月末現在
50.7%



H25. 3月末現在
55.4%



[単位: 千円]

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H24-H23
入院収益	9,846,656	10,946,318	11,613,821	11,502,569	11,587,324	84,755
外来収益	2,580,249	2,976,757	3,224,701	3,240,221	3,483,936	243,715
計 A	12,426,905	13,923,075	14,838,522	14,742,790	15,071,260	328,470
薬品費	2,489,373	2,831,361	2,535,784	2,527,630	2,854,780	327,150
診療材料費	1,567,743	1,682,516	1,651,974	1,880,631	1,872,274	-8,357
計 B	4,057,116	4,513,877	4,187,758	4,408,261	4,727,054	318,793
B ÷ A × 100	32.65%	32.42%	28.22%	29.90%	31.36%	1.46%

※消費税込みの額で算出しているため6ページの材料費対医業収益比率とは一致しません。

Ⅲ. 改革プラン収支計画との比較

1 収支計画と実績の比較

▼改革プラン収支計画（H23.2月改訂）と実績（※収支計画、実績ともに特例債分を除いたもの）

実績欄はH24まで決算額、H25は当初予算額

（単位：百万円）

区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
函館病院							
単年度 財源過不足額 実績	△ 250	1,403	577	488	11		
累積 " "	△ 2,249	△ 846	△ 268	220	231		
単年度 財源過不足額 計画	△ 250	870	923	521	667	314	261
累積 " "	△ 2,249	△ 1,379	△ 456	65	432	746	1,007
恵山病院							
単年度 財源過不足額 実績	11	△ 26	△ 4	△ 28	25		
累積 " "	△ 199	△ 225	△ 230	△ 258	△ 233		
単年度 財源過不足額 計画	11	△ 45	8	△ 49	9	△ 30	△ 28
累積 " "	△ 199	△ 244	△ 236	△ 285	△ 276	△ 306	△ 334
南茅部病院							
単年度 財源過不足額 実績	△ 45	△ 63	△ 120	△ 26	△ 28		
累積 " "	△ 8	△ 72	△ 192	△ 218	△ 246		
単年度 財源過不足額 計画	△ 45	△ 71	△ 71	△ 34	△ 86	△ 170	△ 149
累積 " "	△ 8	△ 79	△ 150	△ 184	△ 270	△ 440	△ 589
単年度財源過不足額 計							
実績	△ 284	1,314	453	434	8		
計画	△ 284	754	860	438	590	114	84
累積財源過不足額 計							
実績	△ 2,456	△ 1,143	△ 690	△ 256	△ 248		
計画	△ 2,456	△ 1,702	△ 842	△ 404	△ 114	0	84
不良債務比率 (%)							
実績	16.3	7.1	4.3	1.5	1.3		
計画	16.3	11.0	5.3	2.6	0.7	0.0	△ 0.5

一般会計繰入金							
実績	2,689	2,948	2,561	2,536	2,409		
計画	2,689	2,953	3,057	2,711	2,574	2,492	2,421

参考：特例債分含んだ一般会計繰入金							
実績	2,689	2,948	5,487	2,536	2,409		
計画	2,689	2,953	3,642	3,296	3,159	3,077	3,006

▼収支計画と実績の主な相違点

- ① 一般会計繰入金
 - 計画：経営健全化分等としてH21は2億円、H22～H23は4.8億円、H24以降は毎年2億円を繰入。
 - 実績：経営健全化分等はH23から繰入なし。
 - ② 企業債
 - 計画：H26より計上。
 - 実績：H23特例債繰上償還により、不良債務比率が10%を下回ったためH24より発行。
 - ③ 地域医療再生計画事業費補助金
 - 計画：計上なし。
 - 実績：H23からH25の3年間で約5億3,400万円の補助金の交付。
 - ④ H25函館病院：放射線治療機器更新に伴う減収 → 約3億円
- ※ 公立病院特例債の繰上償還
- 計画：29億2,610万円をH23からH27の5か年で一般会計繰入金を財源として償還。
 - 実績：H23一般会計からの繰り入れにより29億2,610万円を全額繰上償還。

▼国の動向

改革プラン策定後5年を経過することから、現在、各病院の平成24年度までの実績等を集約中。